

2019年6月14日

各 位

株式会社北洋銀行

**安定的な資産形成・資産承継を実現するための取組方針
～「お客さま第一主義」(フィデューシャリー・デューティー)の徹底～
の2018年度の取組状況・成果指標(KPI)の結果について**

お客さま第一の業務運営をより一層推進するため、2017年6月9日に策定した『安定的な資産形成・資産承継を実現するための取組方針～「お客さま第一主義」(フィデューシャリー・デューティー*)の徹底～』(以下、本方針)の2018年度の取組状況・成果指標(KPI)の結果をお知らせいたします。

引続き、本方針に基づく「行動計画」および「具体的取組」を実践することで、お客さまの安定的な資産形成・資産承継を実現するとともに、「お客さま第一主義」の業務運営を企業文化として定着させてまいります。

※フィデューシャリー・デューティーとは、お客さまのニーズを正確に捉え、適切な説明や情報提供を実施し、お客さまの意向や利益に真に適う金融商品やサービスを提供することをいいます。

【公表する成果指標 (KPI)】

＜当行設定の KPI＞

- ①投資信託販売額上位 10 商品および投資対象別販売構成比
- ②投資信託商品ラインナップ状況
- ③保険商品ラインナップ状況
- ④預り資産残高（一時払保険・投資信託・金融商品仲介）
- ⑤投信積立期中振替金額およびご契約者の年齢層別口座数
- ⑥NISA 口座数推移および稼動口座の年齢層
- ⑦FP 技能士資格取得者数および取得率
- ⑧投資信託販売額の毎月分配型とそれ以外の販売比率
- ⑨お客さま向けセミナー開催回数

＜金融庁公表の投資信託の販売会社における比較可能な共通 KPI＞

- ①投資信託の運用損益別顧客比率
- ②投資信託の預り残高上位 20 銘柄のコスト・リターン
- ③投資信託の預り残高上位 20 銘柄のリスク・リターン

以 上

「安定的な資産形成・資産承継を実現するための取組方針」に係る取組状況

2019年3月末現在

▶北洋銀行は、2017年6月9日に『安定的な資産形成・資産承継を実現するための取組方針～「お客さま第一主義」（フィデューシャリー・デューティー）の徹底～』を策定し、6つの取組方針に基づき具体的な取組を実践してまいりました。

2018年度の各取組方針に係る取組状況を成果指標（KPI）および金融庁の定める比較可能な共通KPIの結果とともにご報告いたします。

【取組方針1】お客さま第一に徹したコンサルティングの実践

＜具体的取組＞

- お客さまの安定的な資産形成の実現につながる投資手法をご提案し、お客さまの多様なニーズにお応えするため、商品ラインナップを拡充してまいります。
- お客さまの長期的・安定的な資産形成の実現に向け、各種の積立機能を活用し、長期分散投資の普及を図ってまいります。
- 金融に関する資格の取得を推奨する等、引続き金融のプロとしての自覚・意識醸成を図ってまいります。

取組状況

- (1) お客さまの安定的な資産形成の実現につながる投資手法として、引続き「コア・サテライト戦略」による投資信託のご提案を行っております。
「コア・サテライト戦略」とは、運用資産を安定的運用の「コアファンド」と積極的運用の「サテライトファンド」とに分け、バランスよく組合せながら資産全体の運用効率を引き上げることを目指す投資戦略です。
投資信託残高に占める「コアファンド」の割合は15.5%（前年同月比+1.2ポイント）となりました。また、2018年10月～2019年3月の投資信託販売額上位10商品のうち「コアファンド」は2商品となりました。ファンド名等の詳細は、P5の「投資信託販売額上位10商品および投資対象別販売構成比」をご覧ください。
- (2) 元本確保型単位型投信「プライムOne」を4回にわたり募集いたしました。円建てで元本確保を目指す商品性から、これまで投資に踏み切れなかったリスク許容度の低い投資初心者のお客さまや、法人を中心にご購入いただきました。
- (3) お客さまの多様なニーズにお応えするため、商品ラインナップを拡充した結果、投資信託は15商品、保険商品は4商品増加しました。
商品カテゴリ別の取扱商品数については、P7の「投資信託商品ラインナップ状況」およびP8の「保険商品ラインナップ状況」をご覧ください。
- (4) 「資産分散」、「時間分散」、「長期保有」により、リスクを低く抑え、安定した収益が期待される「投信積立」のご提案を通じ、お客さまの長期的・安定的な資産形成の実現に向けたお手伝いをしてまいります。
投信積立の実績についてはP9の「投信積立期中振替金額およびご契約者の年齢別口座数」をご覧ください。
- (5) お客さまの安定的な資産形成の実現に向けた有効な制度である、NISA（少額投資非課税制度）の利用を積極的にご案内しております。特に、少額からの長期・積立・分散投資を実現するため2018年1月に創設された「つみたてNISA」の利用をお勧めしており、2019年3月末現在11,075件の口座を開設いただきました。
NISAの取組状況についてはP10の「NISA口座数推移および稼働口座の年齢層」をご覧ください。

【取組方針2】お客様の利益を第一とした管理体制の強化

＜具体的取組＞

- お客様に販売・推奨等する商品の選定時に、提供会社から申受ける手数料の水準等の取引条件について、商品選定・販売部門とは独立した「利益相反管理統括部門」（法務コンプライアンス部）が確認してまいります。
- お客様の多様なニーズにお応えするため、当行で取扱いのない商品については、当行グループ会社等をご紹介します場合があります。そのような時には、お客さまからご紹介等にかかる同意を事前にいただきます。

取組状況

- (1) お客様向けの「金融商品の取扱い」に関する利益相反の状況を適切に把握・管理するために制定している「利益相反管理マニュアル」に基づき、商品・サービス等を最終的に利用されるお客様の利益を害することがないよう検討し、「利益相反管理統括部門」（法務コンプライアンス部）が確認しております。
- (2) 引続き、当行で取扱いのない商品について、当行グループ会社等をご紹介します場合、お客さまからご紹介等にかかる同意を事前にいただいております。

【取組方針3】手数料の分かりやすい説明

＜具体的取組＞

- 各種手数料にかかる考え方を明確にし、役務内容や申受け理由等を分かりやすい資料により丁寧にご説明してまいります。

取組状況

- (1) 投資信託においては「投資信託説明書（交付目論見書）」および「目論見書補完書面」等、保険商品においては「契約締結前交付書面」および「商品概要チラシ」等を使用し、お客様にご負担いただく各種手数料、役務内容等についてご説明しております。
また、これから投資信託の購入を検討されているお客様向けのご説明資料「北洋投資信託ガイド」（2018年12月新設）に、投信信託購入・保有・換金時の費用（販売手数料・信託報酬等）および役務内容を記載しました。今後とも、分かりやすいご説明を心掛けてまいります。
- (2) 2016年10月より当行が保険会社から申受ける生命保険（特定保険契約）の代理店手数料について、保険会社の同意を前提として自主的に開示しております。
代理店手数料は、保険会社から販売代理店に支払われるものであり、お客さまから直接いただく費用ではございませんが、販売体制における透明性を高め、お客さまにより適切にご判断をいただけるよう開示しております。

【取組方針4】重要な情報の分かりやすい提供

＜具体的取組＞

- お客さまにご提案する際に使用のご説明資料について、より分かりやすくなるよう継続的に見直してまいります。
- お客さまの投資判断に必要な情報を、ホームページ等を活用しご提供してまいります。
- お客さまに分かりやすい資産運用提案ツールの充実を図ってまいります。

取組状況

- (1) 情報提供資料「北洋ライフプランガイド」を全面改訂し、「4つの世代（はじめる世代、そだてる世代、準備する世代、引き継ぐ世代）」のライフプランに合わせたご提案や、お客さまの目的に合わせた「お金の色分け」などのご提案をしております。

- (2) ライフプランツール「Let's! Life Plan」を導入し、結婚や住宅購入、退職金、年金などのライフイベントから資産運用の必要性をご提示するほか、相続・贈与ニーズをお持ちのお客さまに相続税・贈与税のシミュレーションが可能となり、概算税額等を短時間でご提示することが出来るようになりました。
- (3) 2017年10月に導入した、投資信託のファンド選択をサポートするロボ・アドバイザーサービス「ロボアド&シミュレーション」の機能を改善しました。
「取り崩し分析」(計画的な資産の取り崩しを行うのに必要な投資元本・リターン・運用期間・毎月取り崩し額を計算することができる機能)の追加や、「過去データのシミュレーション拡充」(指定する投資額を使って過去のデータを提示できる)を図りました。

【取組方針5】お客さまに寄りそったサービスの提供

＜具体的取組＞

- お客さまにふさわしい適切なお提案を行うため、商品・周辺知識およびコンサルティングスキルの向上を図ってまいります。
- 投資・金融知識の向上に役立つための、ライフステージに応じた「お客さまセミナー」の開催、パソコンやスマートフォン等インターネットを活用した情報提供の充実を図ってまいります。
- 手軽に投資をはじめられるように、チャネルの多様化を図ってまいります。

取組状況

- (1) お客さまにふさわしい適切なお提案を行うためのコンサルティングスキルの一層の向上を目指し、職員に対してFP技能士(国家資格)等の資格取得を積極的に推奨しております。
FP技能士資格の取得状況については、P10の「FP技能士資格取得者数および取得率」をご覧ください。
- (2) お客さまの投資・金融知識向上のお役に立つよう、資産運用、相続などライフステージに応じた「お客さまセミナー」を開催しております。
特に、各営業店にてお取引先法人の従業員の皆さま向けのセミナーも積極的に開催しております。
セミナーの開催回数については、P11の「お客さま向けセミナー開催回数」をご覧ください。
- (3) お客さまのライフプランに応じたコンサルティング機能を強化するため、ほけんの窓口グループ株式会社との業務提携に基づき、2018年7月に『北洋ほけんプラザ琴似』～ほけんの窓口@北洋銀行～2号店を開設しました。
専門スタッフが豊富な商品ラインナップ(2019年3月末現在88商品)の中から、お客さまのニーズやライフプランに応じた最適な商品をご提案いたします。
- (4) 2019年2月より従来の紙を主体とした保険の勧誘・募集事務が、電子サインを導入したタブレット画面での操作で完結できるようになりました(ペーパーレス化)。
お客さまの書面記入等の事務負担軽減し募集事務時間を短縮することにより、これまで以上にコンサルティングの充実を図ります。

【取組方針6】お客さま第一を実践するための体制構築

＜具体的取組＞

- 「お客さま第一主義」の業務運営の浸透に向け、研修カリキュラムの充実を図ってまいります。
- 外部評価等を活用して、定着度合やお客さま満足度を把握し、評価体系や研修内容へ反映させてまいります。

取組状況

- (1) 職員向け研修において、FD(フィデューシャリー・デューティー)の定着を目的としたカリキュラムを実施しております。
金融商品販売におけるコンサルティングスキルの向上のため、行内ロールプレイング大会を開催し、成績上位者3名が野村証券主催の「全国ロールプレイング大会」に参加しました。
また、成績上位者のロールプレイングの様子を営業店に還元し、職員全体のコンサルティングスキルの向上に努めてまいります。
- (2) 店頭にて投資信託、一時払保険をご契約いただいたお客さまを対象とした「お客さまアンケート」を実施しております(2018年4月、7月、2019年1月実施)。
アンケートを通じ、ご提案商品の満足度や説明の分かりやすさ等を継続的に計測し、お客さまへのアフターフォローに活用するとともに、職員のコンサルティングの品質を向上させてまいります。
- (3) 外部評価機関(株式会社格付投資情報センター(R&I))による顧客本位の投資信託販売会社評価において「A+」の評価を取得しました。
※当評価における「A+」評価基準:顧客の最善の利益を図るための取組みが行われており、優れた要素がある。

「安定的な資産形成・資産承継を実現するための取組方針」に係る成果指標(KPI)の状況

2019年3月末現在

▶ お客さま第一に徹したコンサルティングに努め、お客さまのライフステージに応じた商品のご提案を行ってまいります。

2018年10月～2019年3月の投資信託販売は、国内外の株式相場の成長期待から、前年同時期と比べ株式ファンドの比率が増加しました。商品別には大きな偏りはなく分散されております。また、相場の変動から資産を守りながら中長期的に安定したリターンを目指すコアファンド2商品(マイ・ウェイ・ジャパン、リスク抑制世界8資産バランスファンド)が上位10商品に入りました。

①投資信託販売額 上位10商品および投資対象別販売構成比

<投資信託販売額 上位10商品>

(2018年10月～2019年3月)【投信積立を除く店頭・インターネット取扱分の合計】

順位	商品	投信会社名	投資対象	コアファンド [*] (※1)	構成比
1	新成長株ファンド	明治安田アセットマネジメント	国内株式		12.6%
2	ノルディック社債ファンド 為替ヘッジあり	野村アセットマネジメント	ハイイールド債券		9.9%
3	マイ・ウェイ・ジャパン	大和住銀投信投資顧問	国内株式	○	7.7%
4	財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)	日興アセットマネジメント	海外バランス		6.3%
5	アジア・オセアニア好配当成長株オープン	岡三アセットマネジメント	新興国株式		6.2%
6	株式インデックス225	野村アセットマネジメント	国内株式		6.1%
7	グローバルAIファンド	三井住友DSアセットマネジメント	グローバル株式		5.0%
8	リスク抑制世界8資産バランスファンド	アセットマネジメントOne	海外バランス	○	4.3%
9	野村インデックスファンド・日経225	野村アセットマネジメント	国内株式		3.8%
10	日経225ノーロードオープン	アセットマネジメントOne	国内株式		2.5%

※1)コアファンドとは、当行の基準で選定した、相場の変動から資産を守りながら中長期的に安定したリターンを目指すファンドです。

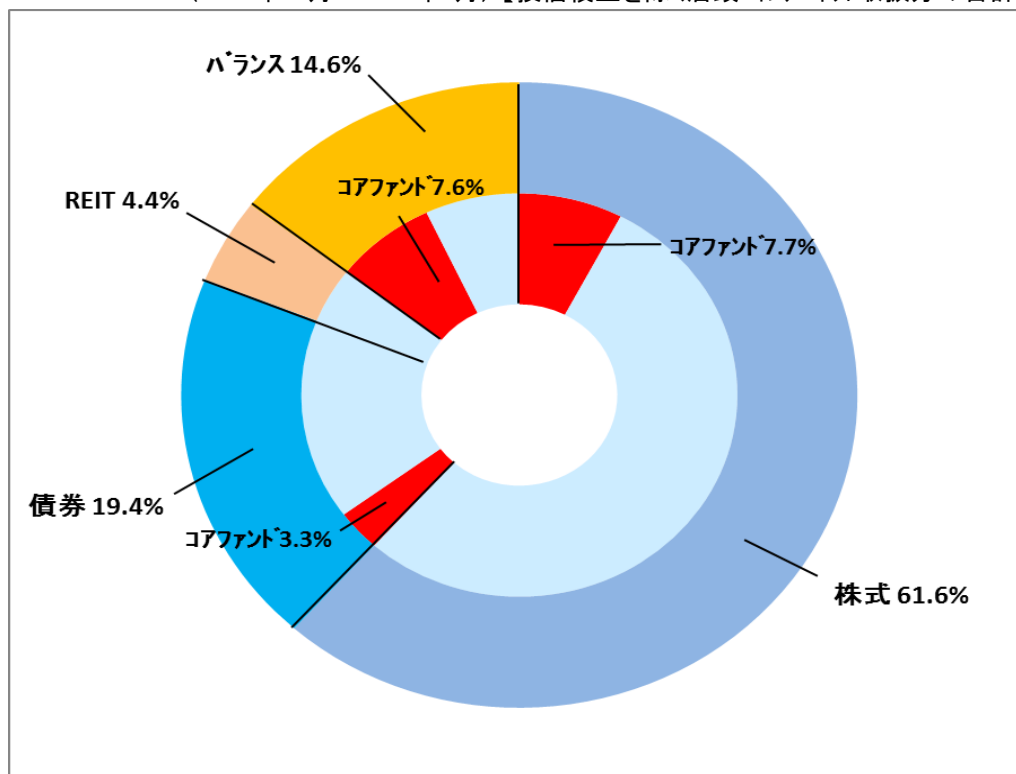
(2017年10月～2018年3月)【投信積立を除く店頭・インターネット取扱分の合計】

順位	商品	投信会社名	投資対象	コアファンド [*] (※1)	構成比
1	グローバル・インフラ関連社債ファンド [*] 2018-02(為替ヘッジあり)(※2)	三井住友アセットマネジメント	先進国債券		11.1%
2	マイ・ウェイ・ジャパン	大和住銀投信投資顧問	国内株式	○	8.5%
3	新成長株ファンド	明治安田アセットマネジメント	国内株式		8.1%
4	マニュアル・米国銀行株式ファンド	マニュアルアセットマネジメント	先進国株式		7.1%
5	野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド [*] Aコース	野村アセットマネジメント	グローバル債券	○	5.8%
6	リスク抑制世界8資産バランスファンド	アセットマネジメントOne	海外バランス	○	5.6%
7	Yjamプラス!	アストマックス投信投資顧問	国内株式		5.2%
8	アジア・オセアニア好配当成長株オープン	岡三アセットマネジメント	新興国株式		4.8%
9	新光US-REITオープン	アセットマネジメントOne	海外REIT		4.3%
10	ニッセイJPX日経400アクティブファンド	ニッセイアセットマネジメント	国内株式		3.5%

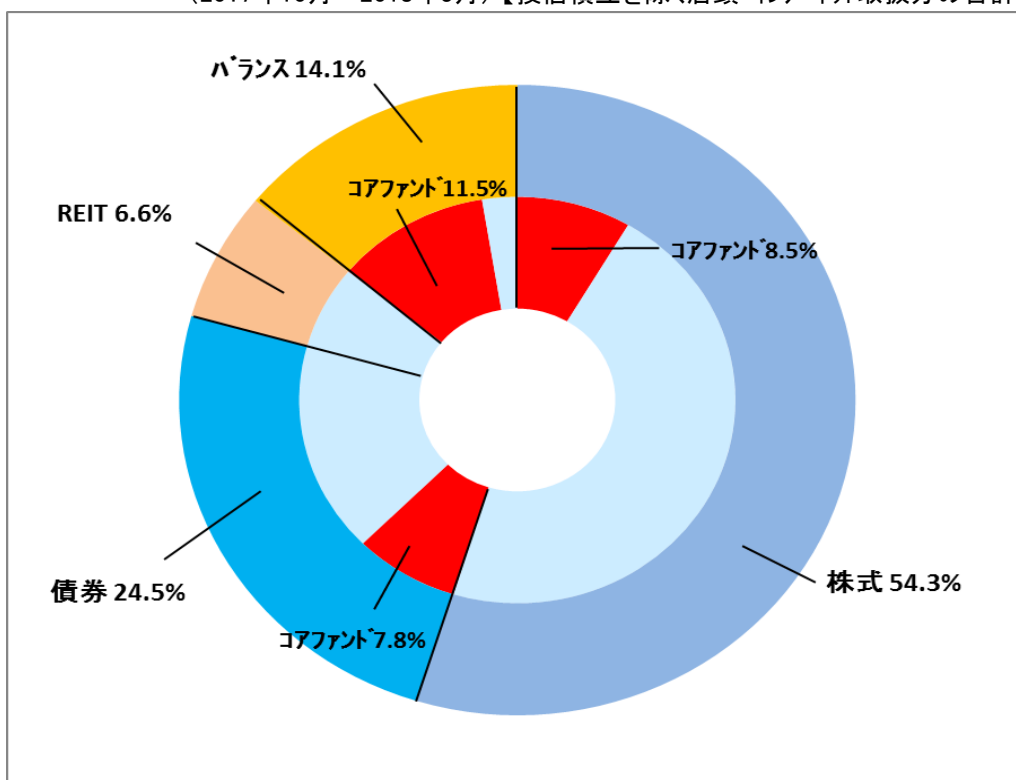
※2)グローバル・インフラ関連社債ファンド2018-02は限定追加型投資信託であり、現在は募集していません。

①投資信託販売額 上位10商品および投資対象別販売構成比
 <投資対象別販売構成比>

(2018年10月～2019年3月)【投信積立を除く店頭・インターネット取扱分の合計】



(2017年10月～2018年3月)【投信積立を除く店頭・インターネット取扱分の合計】



＞お客さまの多様なニーズにお応えするため、様々なカテゴリの金融商品を幅広くラインナップしております。2018年3月と比べ、投資信託は15商品、保険商品は4商品増加しました。

②投資信託商品ラインナップ状況(2019年3月末)

商品カテゴリ	取扱商品数		うちコアファンド 商品数	うちインターネット専用	
		構成比		商品数	構成比
株式	52	39.7%	1	8	42.1%
国内株式	16	12.2%	1	5	26.3%
先進国株式	14	10.7%	0	2	10.5%
新興国株式	8	6.1%	0	1	5.3%
グローバル株式	14	10.7%	0	0	0.0%
債券	41	31.3%	7	6	31.6%
国内債券	5	3.8%	1	2	10.5%
先進国債券	16	12.2%	2	2	10.5%
新興国債券	9	6.9%	0	2	10.5%
ハイールド債券	3	2.3%	0	0	0.0%
グローバル債券	8	6.1%	4	0	0.0%
REIT	17	13.0%	0	3	15.8%
国内REIT	5	3.8%	0	1	5.3%
海外REIT	8	6.1%	0	0	0.0%
グローバルREIT	4	3.1%	0	2	10.5%
バランス	21	16.0%	6	2	10.5%
国内バランス	1	0.8%	1	0	0.0%
海外バランス	20	15.3%	5	2	10.5%
合計	131	100.0%	14	19	100.0%

②投資信託商品ラインナップ状況(2018年3月末)

商品カテゴリ	取扱商品数		うちコアファンド 商品数	うちインターネット専用	
		構成比		商品数	構成比
株式	37	31.9%	1	7	38.9%
国内株式	15	12.9%	1	4	22.2%
先進国株式	9	7.8%	0	2	11.1%
新興国株式	8	6.9%	0	1	5.6%
グローバル株式	5	4.3%	0	0	0.0%
債券	41	35.3%	7	6	33.3%
国内債券	5	4.3%	1	2	11.1%
先進国債券	16	13.8%	2	2	11.1%
新興国債券	9	7.8%	0	2	11.1%
ハイールド債券	3	2.6%	0	0	0.0%
グローバル債券	8	6.9%	4	0	0.0%
REIT	17	14.7%	0	3	16.7%
国内REIT	5	4.3%	0	1	5.6%
海外REIT	8	6.9%	0	0	0.0%
グローバルREIT	4	3.4%	0	2	11.1%
バランス	21	18.1%	6	2	11.1%
国内バランス	1	0.9%	1	0	0.0%
海外バランス	20	17.2%	5	2	11.1%
合計	116	100.0%	14	18	100.0%

③保険商品ラインナップ状況(2019年3月末)(ほけんプラザを除く)

商品カテゴリ	店頭取扱商品数	
	商品数	構成比
円建	5	21.7%
変額個人年金	0	0.0%
終身保険	5	21.7%
外貨建	18	78.3%
変額個人年金	3	13.0%
定額個人年金	2	8.7%
終身保険	11	47.8%
養老保険	2	8.7%
合計	23	100.0%

うち手数料開示商品※	21	91.3%
------------	----	-------

商品カテゴリ	店頭取扱商品数	
	商品数	構成比
個人年金保険	3	21.4%
終身保険	3	21.4%
医療・がん保険	7	50.0%
介護・収入保障保険・定期	4	28.6%
合計	17	100.0%

うち手数料開示商品※	3	17.6%
------------	---	-------

※ 外貨建保険、変額保険、市場価格調整機能を備えた保険など、市場リスクを有する商品(2016年10月より開示)。

③保険商品ラインナップ状況(2018年3月末)(ほけんプラザを除く)

商品カテゴリ	店頭取扱商品数	
	商品数	構成比
円建	6	27.3%
変額個人年金	1	4.5%
終身保険	5	22.7%
外貨建	16	72.7%
変額個人年金	4	18.2%
定額個人年金	2	9.1%
終身保険	10	45.5%
合計	22	100.0%

うち手数料開示商品※	21	95.5%
------------	----	-------

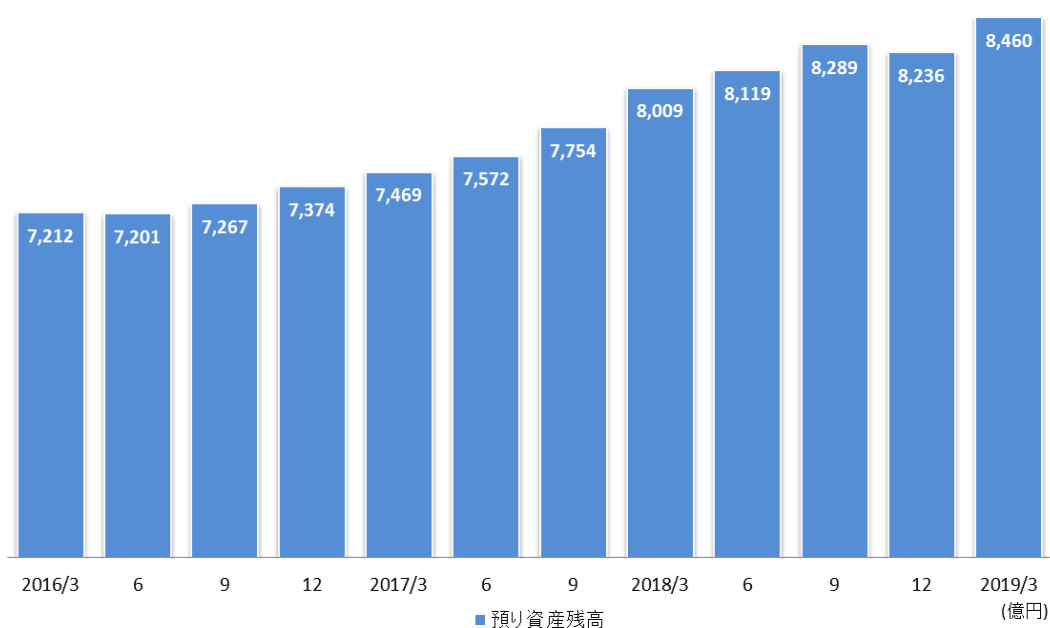
商品カテゴリ	店頭取扱商品数	
	商品数	構成比
個人年金保険	2	14.3%
終身保険	2	14.3%
医療・がん保険	7	50.0%
介護・収入保障保険	3	21.4%
合計	14	100.0%

うち手数料開示商品※	1	7.1%
------------	---	------

※ 外貨建保険、変額保険、市場価格調整機能を備えた保険など、市場リスクを有する商品(2016年10月より開示)。

➤ お客さまの長期的・安定的な資産形成の実現につながるご提案により、預り資産残高の増加を図っております。2018年3月と比べ、451億円増加しました。

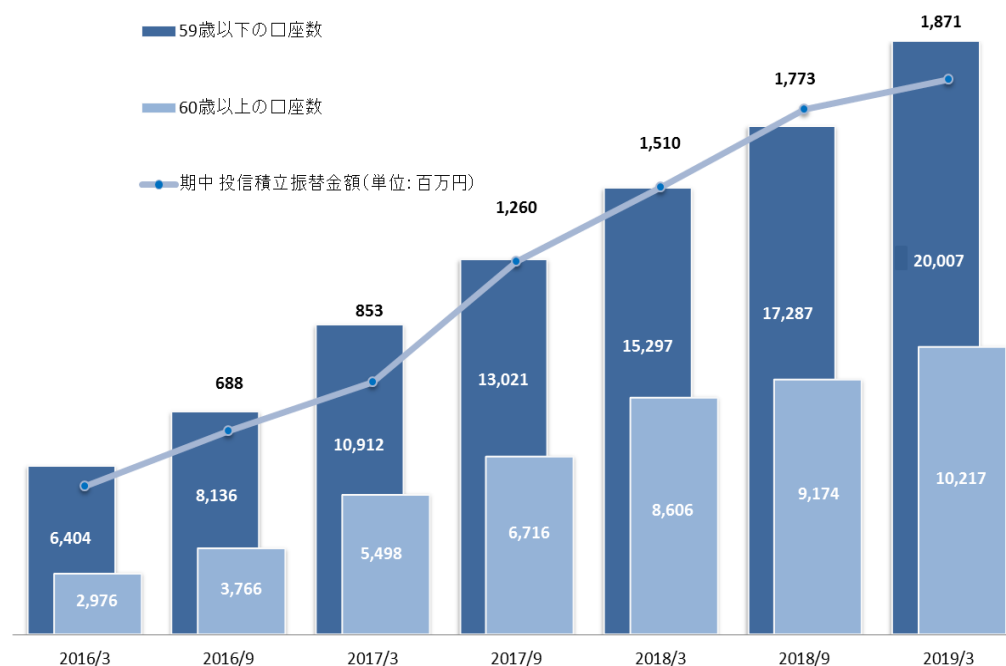
④ 預り資産残高（一時払保険、投資信託、金融商品仲介）



※ 投資信託・金融商品仲介は時価により集計しています。
 ※ 一時払保険は販売額累計額により集計しています。

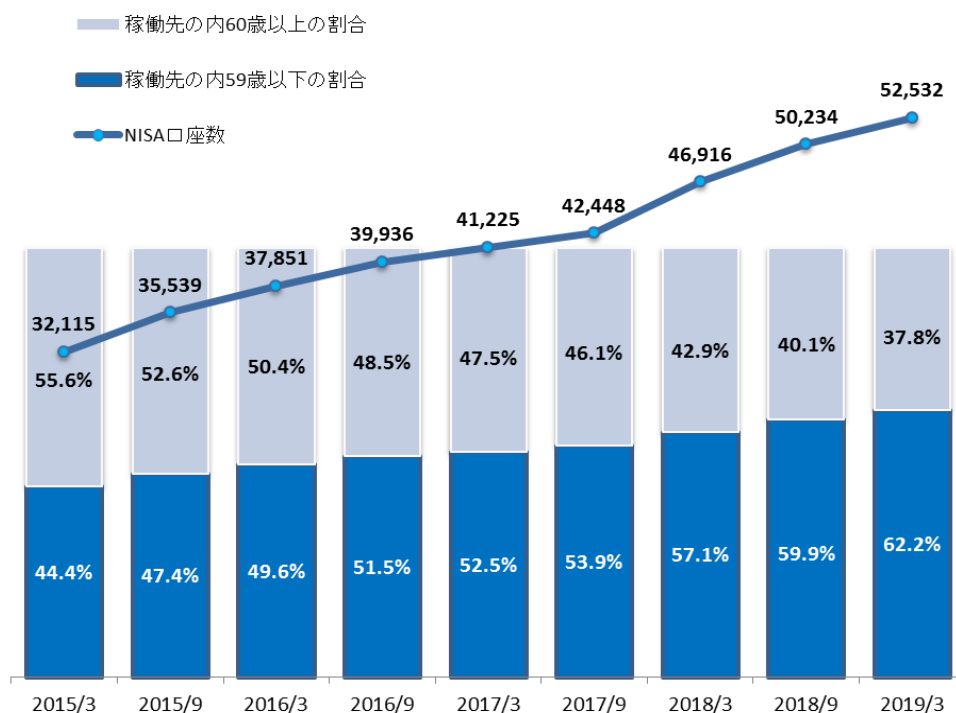
➤ 積立機能を活用した長期分散投資を促進したことにより、2018年3月と比べ、投信積立の期中積立振替金額は1,871百万円（前年同期比361百万円増加）。口座数は6,321件（うち59歳以下4,710件、60歳以上1,611件）増加しました。

⑤ 投信積立 期中振替金額およびご契約者の年齢層別口座数



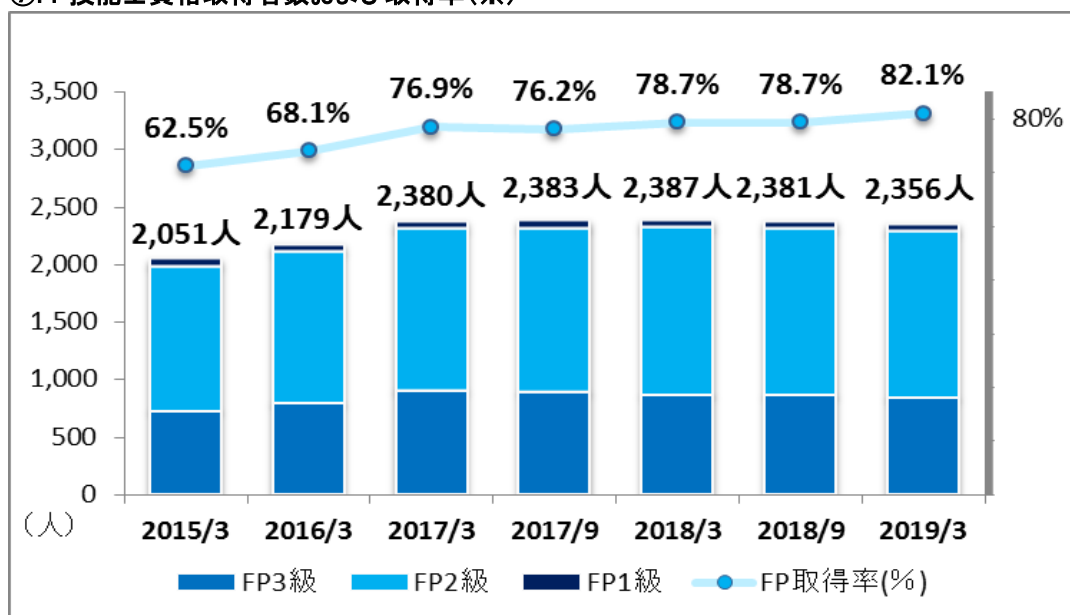
➤ 安定的な資産形成の実現を図るため、少額投資非課税制度(NISA)の普及促進を行っております。2018年3月と比べ、口座数は5,616件増加、59歳以下の比率は5.1ポイント増加しました。そのうち、2018年1月より開始の「つみたてNISA」の口座数は11,075口座となりました。

⑥NISA口座数推移および稼働口座の年齢層



➤ お客さまのニーズに沿った最適な商品をご提案するため、金融に関する資格取得を促進し、金融のプロとしての自覚・意識醸成を図っております。FP資格取得者比率は2018年3月と比べ、3.4ポイント増加しました。

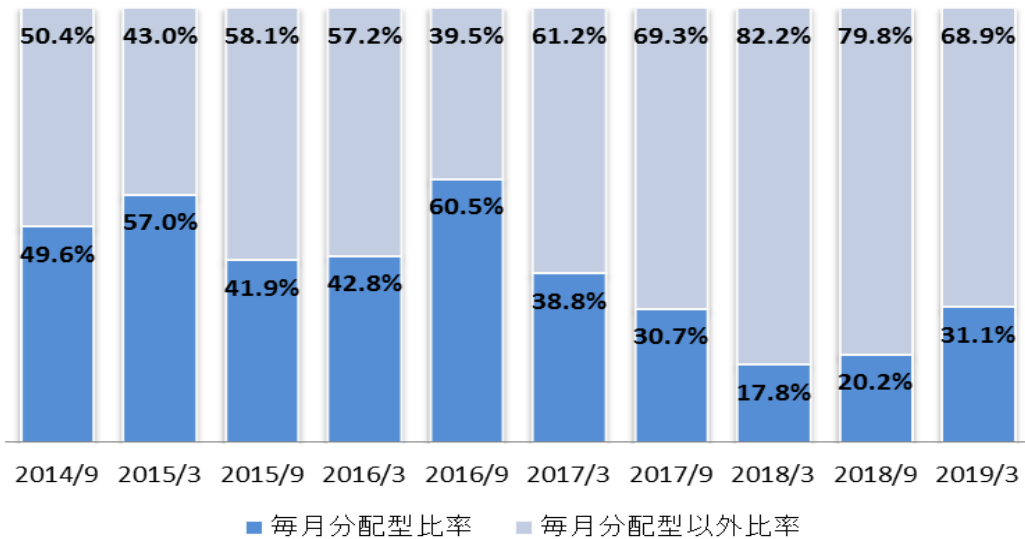
⑦FP技能士資格取得者数および取得率(※)



※取得率は従業員数(就業人員)に占める割合

＞ 投資信託における複利効果の有効性など、金融商品の仕組みや投資判断に必要な情報をご案内しております。毎月分配型の販売比率は31.1%となりました。

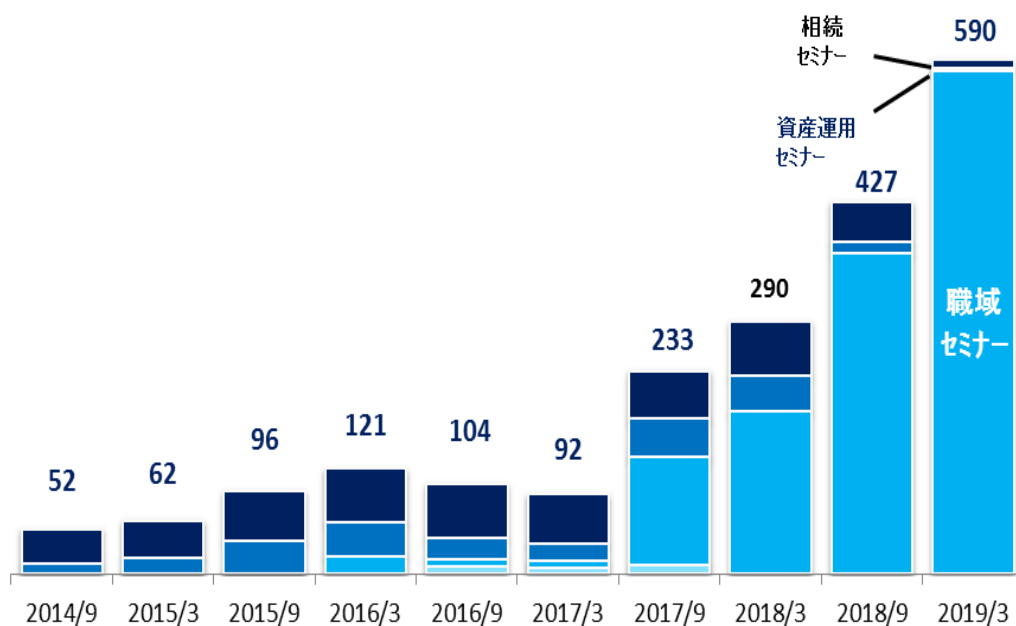
⑧ 投資信託販売額の毎月分配型とそれ以外の販売比率



※ 投信積立を除く

＞ お客さまの投資・金融知識の向上に役立つための、「お客さまセミナー」を開催しております。お取引先法人の従業員様向けセミナーを強化し、2018年3月と比べ300回増加しました。

⑨ お客さま向けセミナー開催回数

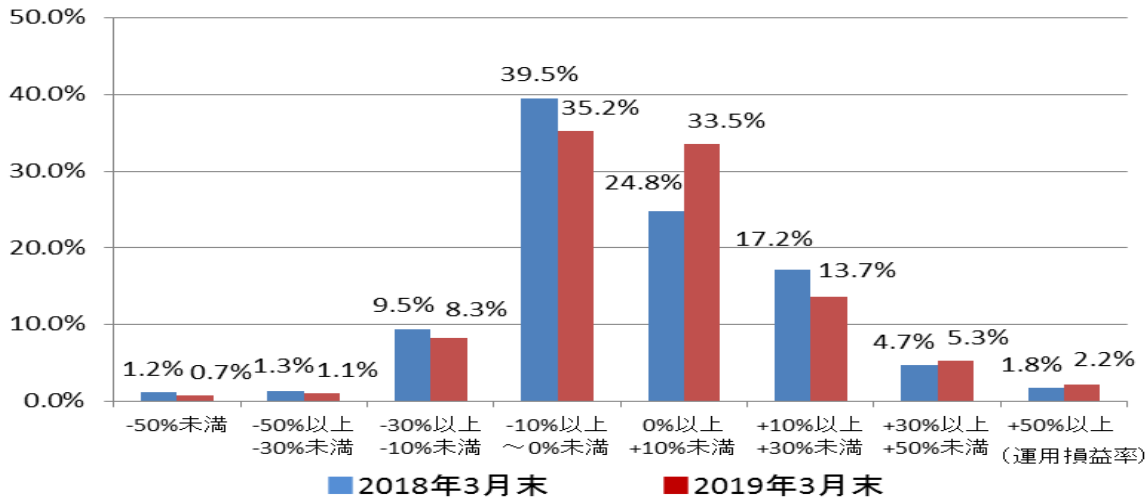


■「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI」の状況について

投資信託の運用損益別顧客比率

●2019年3月末時点では54.7%のお客さまが運用損益がプラスとなりました。2018年3月末と比べ6.2ポイント増加しました。

【共通KPI】 2018年度(過去2年分)



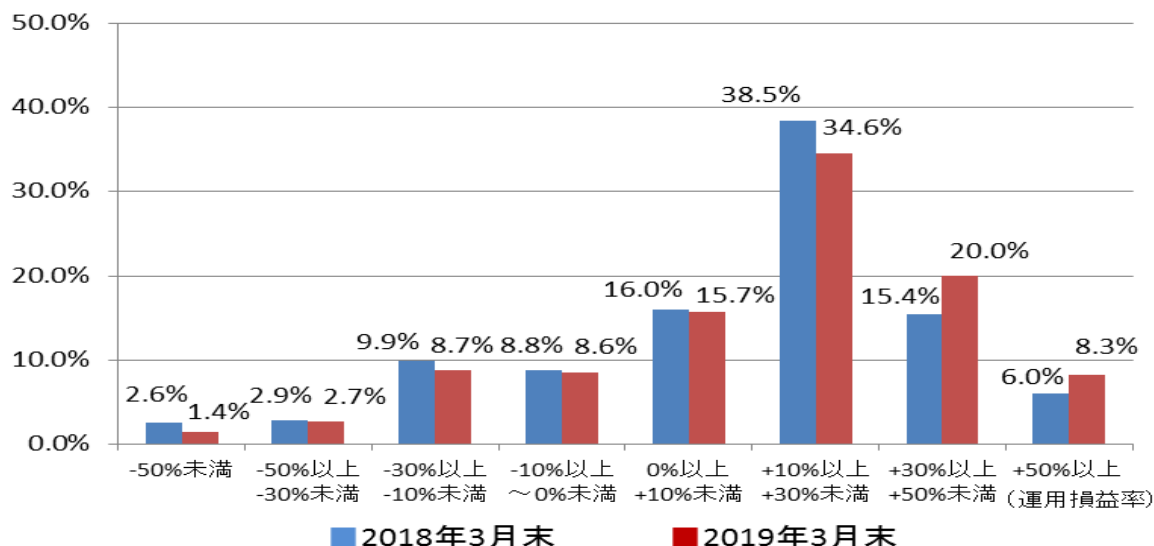
＜運用損益の算出方法＞

分子 ・基準日時点の「評価金額+累計受取分配金(税引後)+累計売付金額
-累計買付金額(含む消費税込の販売手数料)」
・基準日時点までに全部売却・償還された銘柄は対象外
分母 ・基準日時点の評価金額
遡及期間 ・当該銘柄の購入当初まで遡及
対象口座数: 2018年3月末60,251口座、2019年3月末63,568口座

＜参考指標＞ 平均保有期間5年以上のお客さまの運用損益別顧客比率

●平均保有期間が5年以上の場合、78.6%のお客さまが運用損益がプラスとなっております。2018年3月末と比べ2.7ポイント増加しました。北洋銀行では 引続き長期・分散投資をお勧めしてまいります。

【参考】 2018年度(過去2年分)



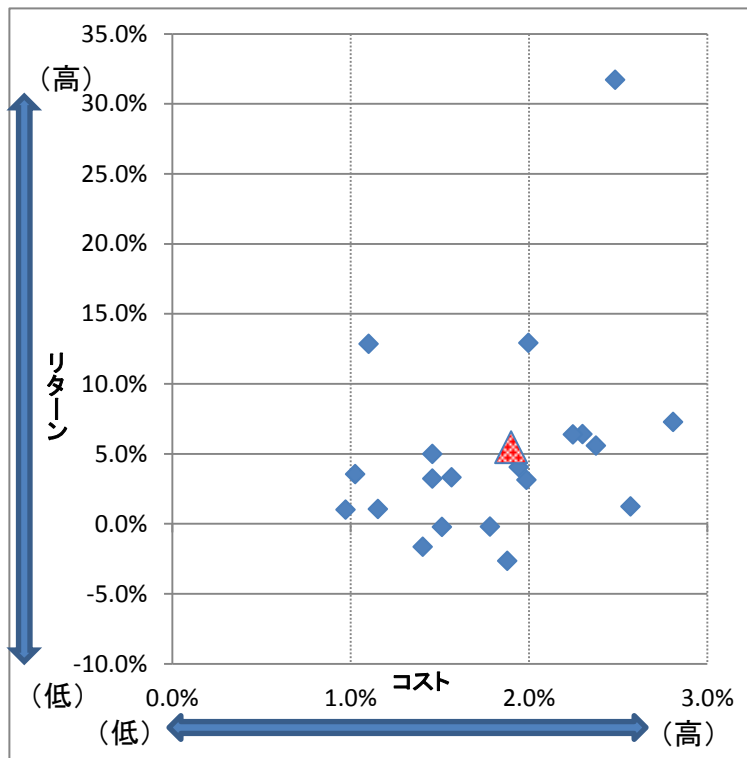
＜平均保有期間の算出方法＞

お客さま口座毎に「1ファンド毎の投資金額×当初申込日からの経過日数」を加重平均
対象口座数: 2018年3月末15,392口座、2019年3月末15,687口座

投資信託の預り残高上位20銘柄のコスト・リターンおよびリスク・リターン

●投資信託の預り残高上位20銘柄のコストおよびリスクにつきましては、2018年3月末と比べほぼ横ばい（コスト+0.04ポイント、リスク+0.18ポイント）で推移しました。リターンにつきましては、0.74ポイント増加しました。

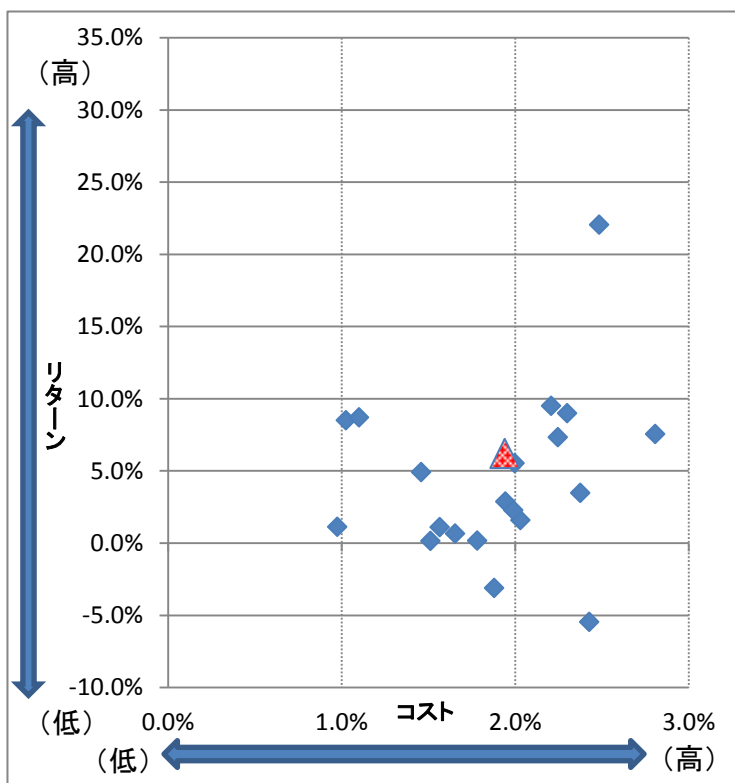
＜コスト・リターン＞ 【2018年3月末】



残高加重平均値	コスト	リターン
	1.90%	5.48%

	銘柄名	コスト	リターン
①	新光US-REITオープン	2.30%	6.41%
②	アジア・オセアニア好配当成長株オープン(毎月分配型)	2.38%	5.58%
③	財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型【愛称:財産3分法】	1.46%	4.98%
④	MHAM J-REIT インデックスファンド(毎月決算型)【愛称:ビルオーナー】	1.03%	3.55%
⑤	ビクテ・アセット・アロケーション・ファンド(毎月分配型)【愛称:ノアリザープ】	2.57%	1.23%
⑥	ダイワ日本国債ファンド(毎月分配型)	0.97%	1.00%
⑦	ダイワ好配当日本株投信(季節点描)	2.00%	12.91%
⑧	明治安田外国債券オープン(毎月分配型)【愛称:夢実現(毎月分配型)】	1.57%	3.31%
⑨	高金利先進国債券オープン(毎月分配型)【愛称:月桂樹】	1.15%	1.06%
⑩	グローバル3資産ファンド【愛称:ワンプレートランチ】	1.94%	4.04%
⑪	新成長株ファンド【愛称:グローイング・カバース】	2.48%	31.71%
⑫	MHAM豪ドル債券ファンド 毎月決算型	1.78%	-0.20%
⑬	株式インデックス225	1.10%	12.84%
⑭	メキシコ債券オープン(毎月分配型)【愛称:アミーゴ】	1.88%	-2.65%
⑮	ブラジル・ボンド・オープン(毎月決算型)	1.99%	3.13%
⑯	短期豪ドル債オープン(毎月分配型)	1.40%	-1.64%
⑰	DIAMワールド・リート・インカム・オープン(毎月決算コース)【愛称:世界家主俱樂部】	2.25%	6.37%
⑱	DIAM高格付インカム・オープン(毎月決算コース)【愛称:ハッピークローバー】	1.51%	-0.24%
⑲	HSBC インド オープン	2.81%	7.28%
⑳	海外国債ファンド	1.46%	3.22%
残高加重平均値		1.90%	5.48%

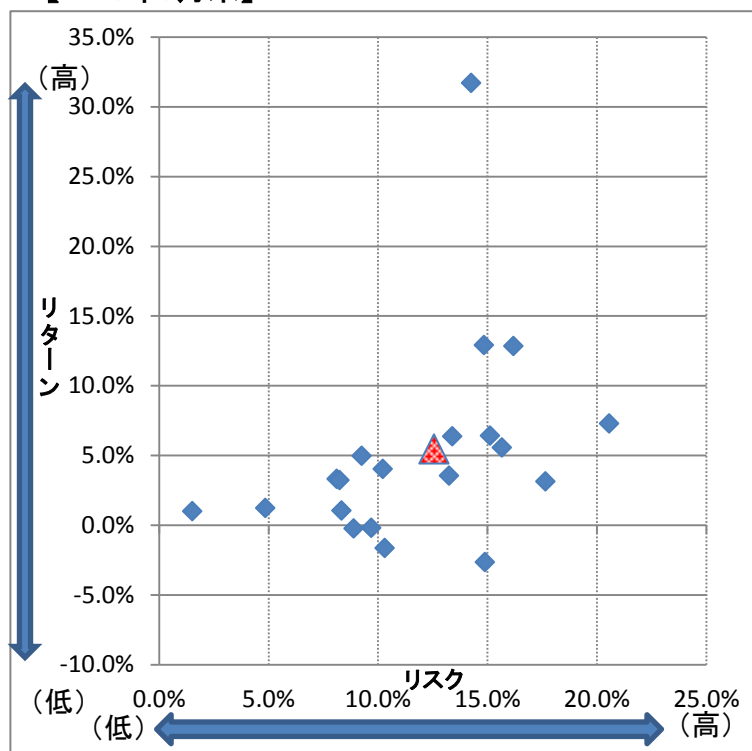
【2019年3月末】



残高加重平均値	コスト	リターン
	1.94%	6.21%

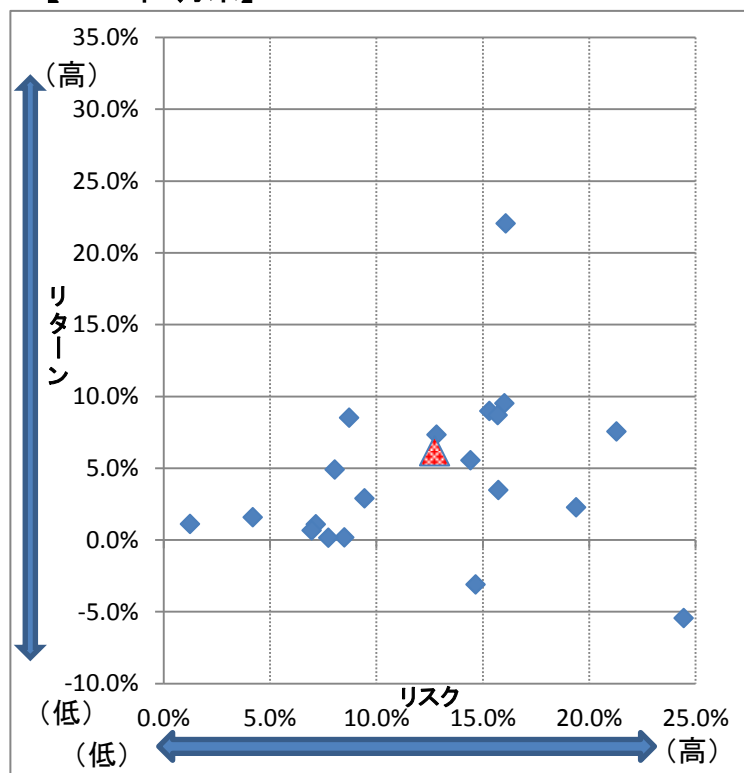
	銘柄名	コスト	リターン
①	新光US-REITオープン	2.30%	8.98%
②	アジア・オセアニア好配当成長株オープン(毎月分配型)	2.38%	3.46%
③	財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型【愛称:財産3分法】	1.46%	4.90%
④	MHAM J-REIT インデックスファンド(毎月決算型)【愛称:ビルオーナー】	1.03%	8.51%
⑤	ニッセイJPX日経400アクティブファンド	2.21%	9.51%
⑥	新成長株ファンド【愛称:グローイング・カバース】	2.48%	22.04%
⑦	株式インデックス225	1.10%	8.69%
⑧	ビクテ・アセット・アロケーション・ファンド(毎月分配型)【愛称:ノアリザープ】	2.03%	1.58%
⑨	ダイワ日本国債ファンド(毎月分配型)	0.98%	1.11%
⑩	ダイワ好配当日本株投信(季節点描)	2.00%	5.54%
⑪	明治安田外国債券オープン(毎月分配型)【愛称:夢実現(毎月分配型)】	1.57%	1.09%
⑫	グローバル3資産ファンド【愛称:ワンプレートランチ】	1.94%	2.88%
⑬	高金利先進国債券オープン(毎月分配型)【愛称:月桂樹】	1.65%	0.65%
⑭	HSBC インド オープン	2.81%	7.54%
⑮	MHAM豪ドル債券ファンド 毎月決算型	1.78%	0.18%
⑯	メキシコ債券オープン(毎月分配型)【愛称:アミーゴ】	1.88%	-3.12%
⑰	DIAMワールド・リート・インカム・オープン(毎月決算コース)【愛称:世界家主俱樂部】	2.25%	7.32%
⑱	米国エネルギー革命関連ファンドBコース(為替ヘッジなし)	2.43%	-5.46%
⑲	ブラジル・ボンド・オープン(毎月決算型)	1.99%	2.27%
⑳	DIAM高格付インカム・オープン(毎月決算コース)【愛称:ハッピークローバー】	1.51%	0.15%
残高加重平均値		1.94%	6.21%

<リスク・リターン> 【2018年3月末】



	銘柄名	リスク	リターン
①	新光US-REITオープン	15.12%	6.41%
②	アジア・オセアニア好配当成長株オープン(毎月分配型)	15.66%	5.58%
③	財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型【愛称:財産3分法】	9.25%	4.98%
④	MHAM J-REIT インデックスファンド(毎月決算型)【愛称:ビルオーナー】	13.25%	3.55%
⑤	ビクテ・アセット・アロケーション・ファンド(毎月分配型)【愛称:ノリザープ】	4.86%	1.23%
⑥	ダイワ日本国債ファンド(毎月分配型)	1.52%	1.00%
⑦	ダイワ好配当日本株投信(季節点描)	14.85%	12.91%
⑧	明治安田外国債券オープン(毎月分配型)【愛称:夢実現(毎月分配型)】	8.11%	3.31%
⑨	高金利先進国債券オープン(毎月分配型)【愛称:月桂樹】	8.33%	1.06%
⑩	グローバル3資産ファンド【愛称:ワンプレートランチ】	10.21%	4.04%
⑪	新成長株ファンド【愛称:グローイング・カバース】	14.26%	31.71%
⑫	MHAM豪ドル債券ファンド 毎月決算型	9.70%	-0.20%
⑬	株式インデックス225	16.18%	12.84%
⑭	メキシコ債券オープン(毎月分配型)【愛称:アミーゴ】	14.88%	-2.65%
⑮	ブラジル・ボンド・オープン(毎月決算型)	17.65%	3.13%
⑯	短期豪ドル債オープン(毎月分配型)	10.31%	-1.64%
⑰	DIAMワールド・リート・インカム・オープン(毎月決算コース)【愛称:世界家主倶楽部】	13.39%	6.37%
⑱	DIAM高格付インカム・オープン(毎月決算コース)【愛称:ハッピークローバー】	8.89%	-0.24%
⑲	HSBC インド オープン	20.56%	7.28%
⑳	海外国債ファンド	8.24%	3.22%
	残高加重平均値	12.55%	5.48%

【2019年3月末】



	銘柄名	リスク	リターン
①	新光US-REITオープン	15.30%	8.98%
②	アジア・オセアニア好配当成長株オープン(毎月分配型)	15.73%	3.46%
③	財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型【愛称:財産3分法】	8.05%	4.90%
④	MHAM J-REIT インデックスファンド(毎月決算型)【愛称:ビルオーナー】	8.73%	8.51%
⑤	ニッセイJPX日経400アクティブファンド	16.02%	9.51%
⑥	新成長株ファンド【愛称:グローイング・カバース】	16.08%	22.04%
⑦	株式インデックス225	15.70%	8.69%
⑧	ビクテ・アセット・アロケーション・ファンド(毎月分配型)【愛称:ノリザープ】	4.19%	1.58%
⑨	ダイワ日本国債ファンド(毎月分配型)	1.25%	1.11%
⑩	ダイワ好配当日本株投信(季節点描)	14.42%	5.54%
⑪	明治安田外国債券オープン(毎月分配型)【愛称:夢実現(毎月分配型)】	7.16%	1.09%
⑫	グローバル3資産ファンド【愛称:ワンプレートランチ】	9.44%	2.88%
⑬	高金利先進国債券オープン(毎月分配型)【愛称:月桂樹】	6.96%	0.65%
⑭	HSBC インド オープン	21.29%	7.54%
⑮	MHAM豪ドル債券ファンド 毎月決算型	8.49%	0.18%
⑯	メキシコ債券オープン(毎月分配型)【愛称:アミーゴ】	14.66%	-3.12%
⑰	DIAMワールド・リート・インカム・オープン(毎月決算コース)【愛称:世界家主倶楽部】	12.84%	7.32%
⑱	米国エネルギー革命関連ファンドBコース(為替ヘッジなし)	24.45%	-5.46%
⑲	ブラジル・ボンド・オープン(毎月決算型)	19.39%	2.27%
⑳	DIAM高格付インカム・オープン(毎月決算コース)【愛称:ハッピークローバー】	7.74%	0.15%
	残高加重平均値	12.73%	6.21%

<コスト・リターン、リスク・リターンの算出方法>

対象ファンド ・2019年3月末時点で設定後5年以上の投資信託の預り残高上位20銘柄

コスト ・当行販売手数料率上限の1/5と信託報酬の合計値

リスク ・過去5年間の月次リターンの標準偏差(年率換算)

リターン ・過去5年間のトータルリターン(年換算)

※上記の数値等は過去の実績であり、将来のコスト・リスク・リターンをお約束するものではありません。